

大型物件への適用性

通常の鉄骨関連 BIM ソフトでは入力と同時にモデル化処理を行うため、大型物件においてはレスポンスに問題が生じるケースが多く、最大処理トン数は数千トンレベルと考えられる。KAP ではモデル化処理をバッチという形態をとるため、入力とモデル化は別処理で行う。その結果、数万トン級の処理も可能である。また、入力は複数人で同時入力ができます。